

施工兼取扱説明書



LIGHT

洗面用立水栓

品番：PAF-LIGBOX031/NO

※施工前に両方がそろっていることをご確認ください

xx →(カラー) NO：マットブラック

このたびは、当社の商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

PAFFONI はイタリアの伝統ある水栓金具製造メーカーです。

施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

もくじ

- 商品図
- 安全上のご注意
- 必ずお守りください
- 技術仕様
- 取付前のご注意
- 施工
- 施工後の確認
- 各部の名称
- ご使用方法
- ご使用上の注意
- お手入れの方法
- 修理を依頼される前に
- 分解図
- アフターメンテナンスに関して
- 保証書

工事店様へのお願い

貴店名ならびに取付日を保証書にご記入のうえ、お客様にお渡しください。

※エアレーター取り外し専用工具が同梱されている場合は、本説明書と一緒にお渡しください。

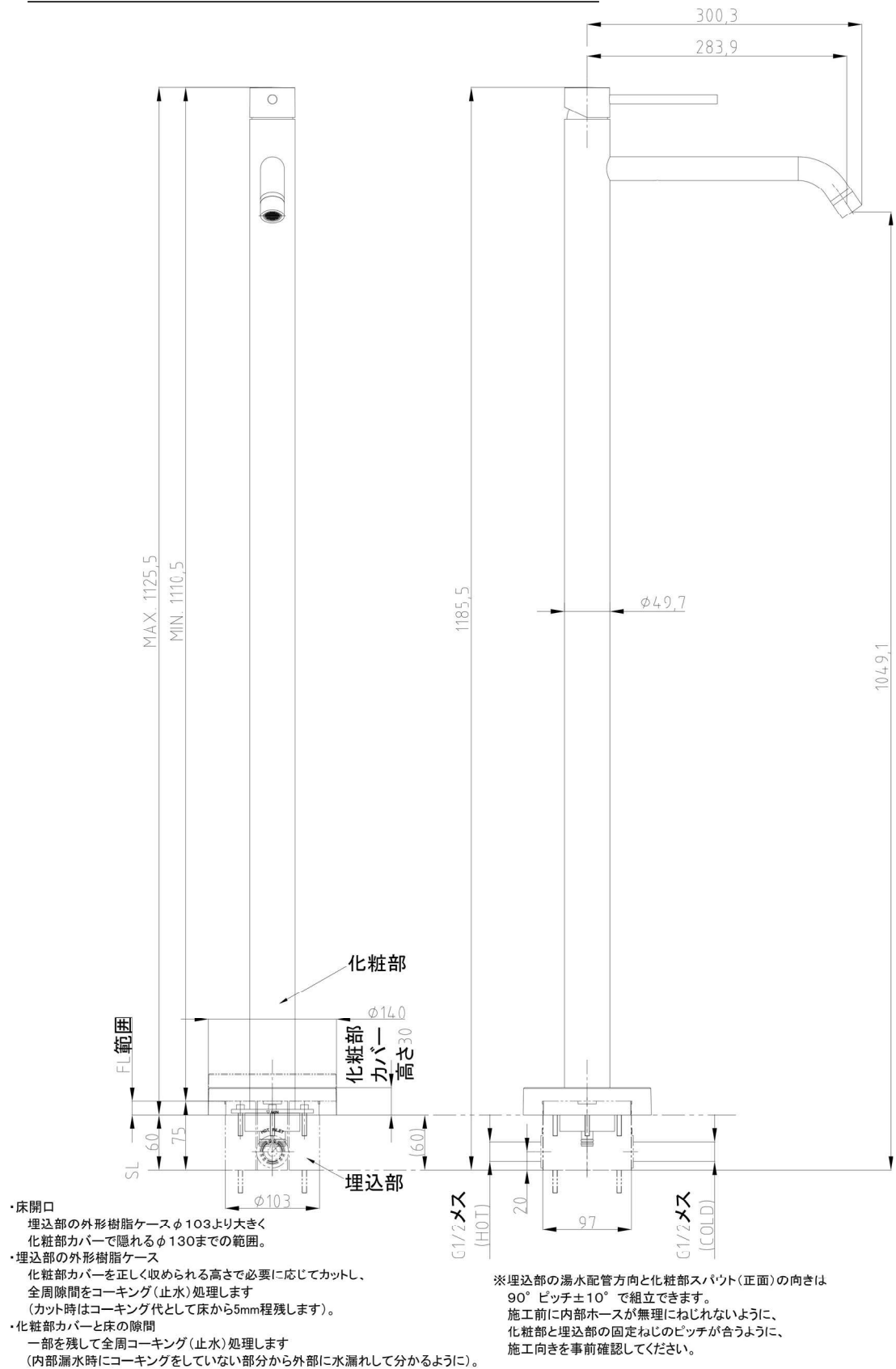
取り付け後は、お客様にご使用方法およびお手入れ方法を十分にご説明ください。

また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

●商品図

PAF-LIGBOX031/NO (LIGBOX031+PBOX005)

※施工前に両方がそろっていることをご確認ください



化粧部:LIGBOX031

埋込部:PBOX005

●安全上のご注意

- 本説明書に示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工前に、本説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 配管工事はすべての建築基準法、水道法、各市町村の条例規定に準じて行ってください。

水栓の取り付けには、水栓を取り付ける作業と配管工事（建設業：管工事業種）が必要です。配管工事に関する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者へこの施工説明書を確実にお渡しいただき配管工事を依頼してください。

管工事業者（法的有資格者）に依頼する工事：

- ・給水／給湯の一次側配管との接続および検査

上記以外の作業は、管工事業者（法的有資格者）以外でも可能です。

記号の説明

 注意	危険、注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。
 禁止行為	禁止行為	該当する行為が禁止行為であることを示しています。
 指示（重要）	指示（重要）	該当する行為が記載されている指示に従って行われなければならないことを示しています。
 接触禁止	接触禁止	該当する部品や部分に触れてはいけないことを示しています。
 分解禁止	分解禁止	該当する部品の分解が禁止行為であることを示しています。

●必ずお守りください

 注意	危険、注意	ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の事項を厳守し、指示には必ず従ってください。
	禁止行為	湯水を逆に配管しないでください。水を出す操作で熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。
	禁止行為	屋外での使用はできません。
	指示（重要）	水栓が凍結温度以下になると、凍結破損による漏水などを引き起こし、家財を濡らすなどの財産損害が発生するおそれがあります。
	接触禁止	高温のお湯をご使用の際は、吐水口や湯に直接触れないでください。やけどやけがのおそれがあります。
	指示（重要）	高温のお湯をご使用後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、しばらく水を流してください。次回使用時に水栓内に滞留した湯が出て、やけどをするおそれがあります。
	指示（重要）	お湯をご使用になる際は、必ずハンドルを水側から開栓してください。その後、ゆっくりお湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。湯側から先に開栓すると、高温の湯が吐出し、やけどをするおそれがあります。
	指示（重要）	他の水栓との同時使用などにより圧力変動が生じ、湯温が急上昇するおそれがあります。同時使用の際は、湯温の変化に十分ご注意ください。やけどをするおそれがあります。
	指示（重要）	ハンドルを急に閉止すると、配管から漏水するおそれがあります。ゆっくり操作してください。漏水により家財などを濡らし、財産損害が発生するおそれがあります。
	分解禁止	修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造を行わないでください。破損、やけど、けが、水漏れなどの原因となるおそれがあります。
	指示（重要）	定期的に配管まわりを点検し、水漏れやがたつきがないか確認してください。製品に使用されている部品の一部は、経年により劣化・摩耗する場合があります。
	指示（重要）	本製品は大型で重量があるため、作業は必ず2人以上で行ってください。

● 技術仕様

- 給水は上水道に接続してください。 ※温泉水・井戸水等には使用できません。
- 給水・給湯圧、給湯温度は次の条件を守ってください。

 水圧	最低圧力 (流動圧)	0.05(MPa)	—
	最高圧力 (静水圧)	0.5(MPa)	これより圧力が高い場合は市販の減圧弁等で 0.2～0.3(MPa)に調整してください。
	推奨圧力 (流動圧)	0.15～ 0.25(MPa)	—
	湯・水差圧 (静水圧)	最大 0.05(MPa)	湯・水の圧力差が大きい状態（例：電気温水器等と組み合わせて使用する場合）で使用すると、圧力が弱い側が吐水されない、急に温度が切り替わる等があり危険です。

 温度	給湯温度	最大 60(℃)	—
---	------	----------	---

● 取付前のご注意

- 逆配管をしないでください。
- 取付後の点検やメンテナンス、緊急時の止水のために、点検・操作しやすい位置に止水栓を設けてください。
- 製品の取付前に、給水管・給湯管内のごみを完全に洗い流してください。配管内にごみが残ったまま製品を取り付けると、製品内部に異物が詰まり、吐水不良や故障の原因となる場合があります。なお、配管内の異物・ごみに起因する止水不良や吐水不良は、製品保証の対象外です。

●施工

※施工動画も合わせてご確認ください

https://www.youtube.com/watch?v=GCjaaNTou_Q



1. 配管内（給水・給湯）の清掃

製品の取付前に、必ず配管内（給水・給湯）のごみ、砂などを完全に洗い出してください。配管内の異物・ごみなどに起因する水栓の止水不良、吐水不良については、製品保証の対象外となります。

2. 取付方向・配管方向と埋込部の水平の確認

- ・化粧部と埋込部（湯・水）の配管方向

埋込部の配管は正面（スパウト）に対して、
左：湯、 右：水
としてください。

※難しい場合は、化粧部を90°ピッチで
回転して取り付けることもできます



- ・埋込部の水平

埋込部は水平に施工してください。

※化粧部の傾きは埋込部の設置状態によって決まり
取り付け後は調整できません。

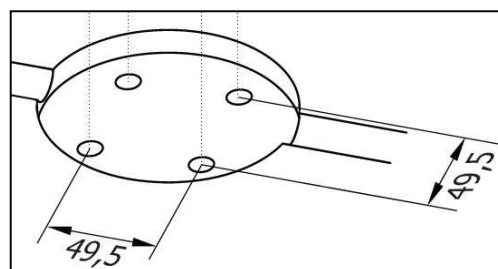


3. 埋込部の施工

- ① 埋込部を固定します

※立水栓に力がかかると埋込部には大きな力が加わります。

固定ねじ1か所当たり 500(N)以上の固定強度を確保してください。



- ② 埋込部の水平・垂直を再度確認してください

- ③ 配管を接続して耐圧検査を実施します

通水（耐圧試験）前に埋込部に取り付けられている
白い止水ブロックが固定されているか確認してください。



※止水ブロックが試験水圧に耐えられない場合があるので、圧力を上げながら随時確認を実施してください。

- ④ 床を仕上げます

埋込部にふたをし、床の仕上げ高さが指定範囲内になるように
施工してください。

※必要に応じて付属の防水シートを仕込み（接着）します。
シートはタイル仕上の場合に、タイルの下に施工します。



- ⑤ 埋込部ケースのカットと止水処理

埋込部の外形ケースを床仕上げ面から 3～5mm(シール代)残してカットし、全周コーキング処理します。



4. 化粧部の施工

- ① 元栓を閉めて、止水ブロックを外します。



- ② 化粧部底部にある接続ニップルの O リングにシリコングリスを塗布します。



- ③ 化粧部の接続ニップルの位置を合わせて埋込部に組み付けます。

※必ず化粧部を保持する人と、位置合わせ・確認を行う人の
2人以上で作業してください。



④ 化粧部を固定します

※固定前にスパウトの向きを微調整し、ボルトを均等に締め付けてください

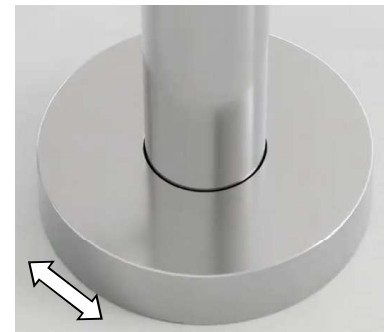


⑤ 給水・給湯の止水栓を開き、水栓の止水時・吐水時それぞれの状態で、各部に水漏れなどの異常がないことを確認してください。

※各状態で5分以上確認してください

⑥ エスカッションの外周をコーキングします

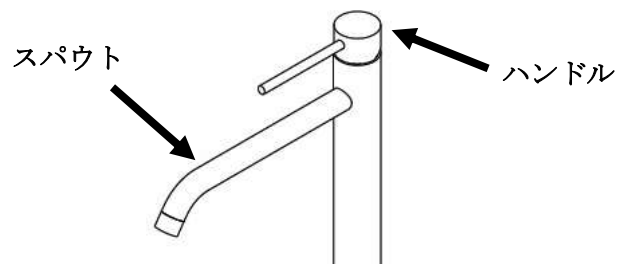
※内部で漏水した際に水が床上に流れ出て発見しやすいようエスカッション外周の目視しやすい位置に、コーキングしない部分を残してください。



●施工後の確認

- ・すべての施工完了後、再度接続部ねじの締め付けを確実に行ってください。
- ・水漏れがないか再度確認してください。
- ・給水・給湯の流量調整
必要に応じて止水栓で流量を調整します。

● 各部の名称

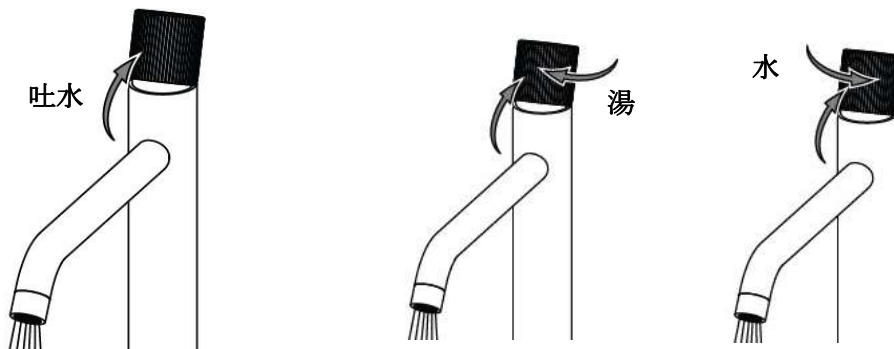


● ご使用方法

・吐水・止水、湯・水

ハンドルを上げると吐水、下げると止水します。

ハンドルを左に回すと湯、右に回すと水になります。



● ご使用上の注意

・ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

給湯圧が低い場合や吐水量が少ないとき、水温が高いときなどは給湯器が着火しない場合があります。

・ハンドル操作

ハンドルはゆっくりと動かしてください。

※急激な操作をすると、配管内で水撃音が出る場合があります。

・水栓に力をかけないでください

水栓に無理な力をかけたり、物をぶついたりしないでください。破損の原因となります。

●お手入れの方法

いつまでもご愛用いただくため、お手入れの際は次のことにご注意ください。

・汚れた場合は

汚れは乾いた柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどいときは適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。その後、水拭きをして、最後に柔らかい布で乾拭きをしてください。

水栓の表面を傷めるおそれのある物（下記は一例）は使用しないでください。

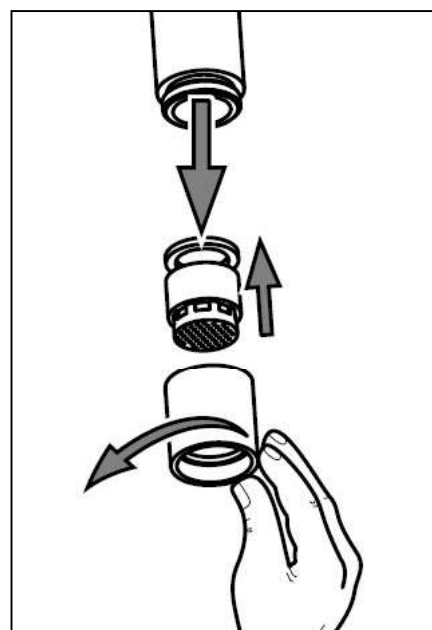


- ・ クレンザー、磨き粉などの粒子の粗い洗剤やクリーナー、酸性洗剤、塩素系漂白剤
- ・ ナイロンタワシ、金属タワシ、ブラシ類など
- ・ シンナー、ベンジンなどの溶剤

・ 吐水口（整流器）のクリーニング

吐水口先端の整流器にごみ等が詰まる場合がありますので、定期的に次の要領で清掃してください。

- ① ハンドルを止水状態にして整流器を反時計回りに回転させて外してください（滑りにくいゴム手袋などを使うと作業がしやすくなります）。
- ② 整流器のごみを取り除いてください。



●修理を依頼される前に

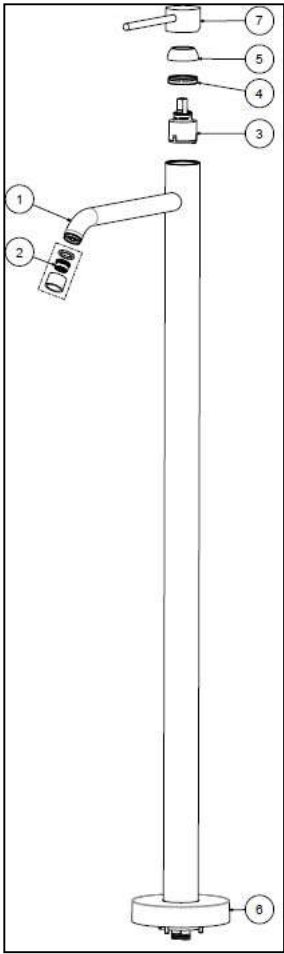
簡単に故障が直る場合があります。下記項目をご確認ください。

内容	考えられる原因	処置
吐水量が少ない	1、配管内のごみが溜まっている 2、給湯器の温度設定が不適切	1、整流器(エアレーター)を取り外して洗浄する 2、給湯器から十分なお湯が出ているか確認する ※使用する温度より設定温度を高くする
温度調節ができない	1、配管内のごみが整流器に溜まっている 2、給湯器の温度設定が不適切 3、水の圧力が強すぎる	1、上記1と同様 2、上記2と同様 3、湯水の吐水量が同量であるか確認する ※ハンドルを湯側いっぱいに合わせて吐水し湯側の止水栓で湯量を適量に調整する。その後ハンドルを水側いっぱいに合わせて、湯側と同様の吐水量になるよう止水栓で水量を調整する。
水（湯）の量が多すぎる 使用時に音がする	水（湯）の圧力が強すぎる	止水栓で流量を調整する
完全に止水できない ポタポタ水が垂れる ハンドルの付け根部、 水栓本体のつなぎ目 から水がにじみ出る	水栓に内蔵されているバルブなどが破損している	販売会社、施工業者、弊社へメンテナンスを依頼し、バルブ交換を行う

上記の処置で故障が直らない場合は、販売店、施工店、弊社へご連絡ください。

上記処置以外の分解、修理、改造は行わないでください。

●分解図



No.	部品名称
①	スパウトセット (エアレーター付)
②	エアレーターASSY
③	カートリッジ
④	カートリッジナット
⑤	ハンドルフランジ
⑥	エスカッション
⑦	レバーハンドル

●アフターメンテナンスに関して

・保証書と保証期間

この取扱説明書には保証書が付いています。

保証期間は施工後 2 年以内です。

・修理を依頼される時

お求めの販売店、施工業者、弊社へご連絡ください。

《連絡していただきたい内容》

- 1、住所・お名前・お電話番号
- 2、品名、品番 （表紙を参照）
- 3、ご購入日
- 4、異常発生箇所、症状

《保証期間中は》

修理時に保証書をご提示ください。

保証書の規定に従い修理させていただきます。

《保証期間が過ぎている場合は》

修理すればご使用いただける商品に関しては、ご希望により有償で修理させていただきます。

《料金》

メンテナンス出張料＋メンテナンス技術料＋部品代金で構成されます。

保 証 書

本保証書は、その記載内容にしたがって無償修理を保証されています。下記保証書期間内に故障した場合は取扱工事店又は弊社へご連絡の上、訪問したサービス員に本保証書をご提示ください。尚、取付日・お客様名・取扱店の記入が無い場合無効となります。

品名 品番 : PAF-LIGBOX031/NO xx →(カラー) NO : マットブラック

使用開始日 :

お名前 :

ご住所 :

お電話番号 :

取扱店名 :

無効

保証内容

- 1、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態において発生した、製造上・品質上の原因による故障や損傷については、使用開始日より2年間の無償修理を致します。
 - 2、保証期間内に故障した場合は、お買い上げの代理店又は弊社までご連絡ください。
 - 3、サービス員が訪問いたしました際は本証書をご提示ください。ご提示の無い場合は有償修理とさせていただきます。
 - 4、次の場合は保証期間内であっても有償修理となります。
 - 1) 誤ったご使用方法による故障や損傷
 - 2) 不当な修理や改造による故障や損傷
 - 3) ごみや異物等による品質上の原因以外の止水不良
 - 4) 天災、災害、地変等による故障
 - 5) 取付後の移動、又は輸送によって生じた故障、損傷
 - 6) 凍結による損傷
 - 5、本保証書は水栓本体に限ります。
 - 6、本保証書は日本国内に限ります。
 - 7、本保証書は再発行いたしませんので大切に保管ください。
- 保証期間後の修理は取扱説明書をご覧ください。取扱工事店、又は弊社へご連絡ください。

